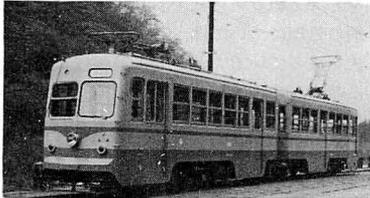


間を別の連結棒でつなぎ、おのおのをナックルピン(図照号6)によって連結してあるので、各動輪が勝手に上下運動をしても、そのため連結棒にむりが生じないようにになっている。連結棒体(図照号1・2)は普通炭素鋼で鍛造され、断面は重量軽減のためI形にするのが普通であり、クランクピンとのはめあい部には青銅鑄物のブシュ(図照号15・16)が圧入されている。この部分には主連棒のピグエンドと同様浮動ブシュ(floating bush)またはコロ軸受を使用するものもあり、国鉄においては試験的に使用されたことはあるが、現在は使用していない。――主連棒。(高桑五六)

れんさ 連鎖 信号機・入換標識および転轍器等の間に何らの関係もつけなければ、まちがって取扱い機会があり、列車運転上または構内作業上危険が伴うので、これら相互間(一般にはそれらでこ相互間)の動作に相関連する鎖錠関係をつける。その関係を連鎖という。(川崎徳政)

れんせつしゃ 連接車 車体の連結部を共通の台車(1軸式構造のものもある)でさええ、渡り板・幌により連絡した構造の車であって、市街用・郊外用電車等に用いられ、3車体4台車以上のもも製作されている。かくすることにより資材の節約・軽量化を図ることができるわけである。なお連接車は連節車、関節車等とも称される。写真は2車体3台車の構造からなる連接車である。(筒井謙二)



連接車

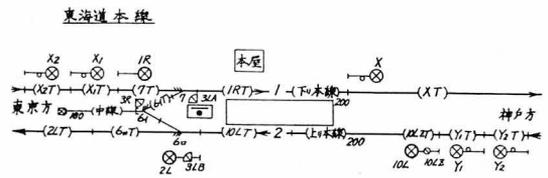
れんせつせん 連接線 交換加入電話回線の一種で、交換機に接続した1つの回線に2個以上の電話機を接続し、おのおのの電話機に呼出符号を与え、同一回線の電話機相互間の通話もできるようにしたものをいう。国鉄は業務機関が線路沿いに連なっていて、その相互間にも通話する必要があるため、この方式が多く用いられている。しかし同一回線に多数の電話機が加入すると話中率が高くなるという欠点があるので、1回線の接続個数は原則として7個以内としている。(福島武雄)

れんどう 連動 (英)interlock 機器の誤操作を防止するため、関係のある機器相互間に電氣的または機械的の連絡をつけ、相手の機器が正常な状態または要求される状態にない場合には操作できないようにすること。連鎖またはインターロックとも呼ぶ。運転保安装置にあっては、列車または車両の運転を安全に行うため、信号機と転轍(てんてつ)器またはそれらおのおの間に特定の条件を付して誤操作を防止するようにしている。これがすなわち連動であって、このような関係をつける装置を連動装置という。(尾松広一)

れんどううんどう 連動運動 (英)interlocking motion 1つの運動に関連してべつの運動が起る場合、これらの運動の間の関連作用をいい、連動作用ともいう。連動運動はある装置を連続して自動的に働かず場合とか、一群の装置を統括的に動かす場合等に用いられ、電氣的のものとは機械的のものがある。電車の自動制御装置や主回路の断流器等には電氣的の接点を利用したものを用いられ、蒸気機関車の圧縮機用ポンプの動作には機械的の連動運動が利用されている。(塚越義寿)

れんどうずびょう 連動図表 (英)interlocking list 停車場構内の連動装置の内容がどんなものであるか、換言すると、どんな形式の信号機や入換標識などがどのように設けられ、どんな連動機が使用されて信号機・入換標識・転轍(てんてつ)器な

○○ 駅連動図表



(第1種電気)

名称	番号	組	鎖錠	信号制動又はてつ鎖錠	進路鎖錠	非互鎖錠(非互鎖錠)	進路別
場内信号機	東京方-東本線	1/R	7	7T, RT (6T, 4B, 6)	7T	X2, 3, 4, 5, 6, 7, 8, 9, 10, 11, 12	
入換信号機	上味線-東本線	2/L	6	60T, 2LT	60T		
入換信号機	上味線-中線	3/A	6	6T, 6T, 6	7T, 6T		⑦, 6
	上味線-同上	3/B	6	60T, 6T, 6	60T, 6T		10LT (10M), ⑥
同上	中線-下味線	3/R	6	6T, 7T, 6	6T, 7T		⑧, ⑦
	同上-上味線	3/L	6	6T, 60T, 6	6T, 60T		(10M), ⑥
予備	(信号機用)	4					
同上	(同上)	5					
転てつ器	(2動)	6	7	60T, 60T			
同上		7	6	7T			
予備	(転てつ器用)	8					
同上	(同上)	9					
場内信号機	神戸方-上味線	10/L	⑥	10LET, 10LT			Y2T, Y1T (60M)
跨線信号機	同上	10/L2		10L2T, 10L2			

どの間には、どの程度の連鎖が施されているか、そのほかにどんな保安装置が設けられているかを一葉の図表で表わしたものをいう。連動装置を設計するにはまず連動図表を作製し、連動図表を作製するに当たっては、その連動装置を施す範囲を定め、列車運転、構内作業、配線の状態、閉塞方式の種別などを勘案して設備費や完成後の運営費を考慮して、保安度を確保されたもっとも合理的な連動装置の種別、信号機、入換標識の形式と設備、連鎖の方法、各種鎖錠装置の設備などを決める。連動図表ができあがると必要な材料の製作、工事の施行、予算の見積などに利用され、またこれを使用して工事は進められ、工事完了後は使用者側における運用に、保守側における保守に利用され、連鎖関係がどう付けられているかを知るには、主としてこの連動図表によるのである。連動図表は停車場構内配線や列車扱いの模様と、信号保安設備の内容とを知るのにもっとも簡潔で便利なものである。この連動図表を作製するに当たって全国鉄一律に誰が作っても誰が見ても、その設備内容・連鎖の方法がわかるように、作製様式を統一した規定が制定されている(連動図表調製心得、昭和27・6・9総裁達307号)。(黒子竜夫)

れんどうずびょうちようせいこころえ 連動図表調整心得 信号保安の連動装置についての設備内容および連鎖関係を、簡単明瞭に統一した様式の図表にあらわすことは、工事ならびに保守上に便利であるので、昭和27・6達第307号により必要な事項を規定したものである。連動図表は1停車場構内1葉として、その形式、記載すべき事項、配線略図および連動表にのせる記号または符号等をきめている。(岩沢 弘)

れんどうそうち 連動装置 (英)interlocking 一般に機器の誤操作を防止するため、関係のある機器相互間に、電氣的または機械的の連絡をつけることを連動といい、これを行う装置。インターロッキングともいう。これを運転保安装置に用いられるものに限定すれば、列車または車両の運転を安全・確実に行うため、連動機または電気回路等を使用して、信号機・転轍(てんてつ)器等の制御または取扱に一定の順序と制限を付したものの総称である。

この装置を構造上または作用上から分類すると次のようになり、設備箇所の状況に応じ、適当なものを選んで設備される。

- 1 継電連動装置またはリレーインターロッキング(electric